

# 2025年度第3回町田市子ども・子育て会議

## 議事要旨

---

### 【開催概要】

日時：2025年11月20日（木）18:00～19:06

会場：市庁舎 会議室10-2～5

### 【議事次第】

- 1 開会
- 2 事務連絡
- 3 議題
  - (1) 「町田市子どもマスタープラン25-34」の2025年度上半期の進捗について（資料1）
  - (2) 「町田市子ども発達支援計画行動計画2024～2026」の2025年度上半期の進捗について（資料2）
- 4 報告
  - (1) 子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）実践自治体第1期の取組みと成果について（資料3～5）
  - (2) 未就園児預かり推進事業の実施状況について（資料6）
- 5 その他
- 6 閉会

【配布資料】

- 資料1 「町田市子どもマスタープラン25-34」2025年度実績中間報告書
- 資料2 「町田市子ども発達支援計画行動計画（第三期障害児福祉計画）  
2024～2026」2025年度実績 中間報告書
- 資料3 子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）実践自治体  
第1期の取組みと成果
- 資料4 ユニセフ「日本型子どもにやさしいまち（CFC）モデル  
構成要素10項目及びチェックリスト」取組結果（2024年度）
- 資料5 ユニセフ「日本型子どもにやさしいまち（CFC）モデル構成要素  
10項目及びチェックリスト」該当事業・取組み一覧（2024年度）
- 資料6 未就園児預かり推進事業の実施状況について

2025年度第3回町田市子ども・子育て会議 委員出席者

子ども・子育て会議 委員

| 氏 名     | 所 属               | 出 欠 |
|---------|-------------------|-----|
| ◎鈴木 美枝子 | 玉川大学              | 出   |
| ○菅野 幸恵  | 青山学院大学            | 出   |
| 下尾 直子   | 洗足こども短期大学         | 出   |
| 駒津 彩果   | 東京三弁護士会多摩支部       | 出   |
| 矢口 政仁   | 町田市私立幼稚園協会        | 出   |
| 関野 鎮雄   | 町田市法人立保育園協会       | 出   |
| 北澤 英明   | 町田市社会福祉協議会        | 出   |
| 畠中 勝美   | 町田市立小学校校長会        | 出   |
| 杉浦 元一   | 町田市立中学校校長会        | 出   |
| 旭岡 善介   | 東京都立町田の丘学園        | 出   |
| 朝倉 寛喜   | 町田市民生委員児童委員協議会    | 出   |
| 中瀬 美帆   | 町田市立中学校PTA連合会     | 出   |
| 村野 明子   | 町田市医師会            | 出   |
| 松井 大輔   | 町田商工会議所           | 欠   |
| 井上 善史   | 市民                | 欠   |
| 蓮池 真穂   | 市民                | 出   |
| 渡邊 蔵之介  | 市民                | 出   |
| 安藤 朝美   | 町田市青少年委員の会        | 出   |
| 酒井 恵子   | 町田市障がい児・者を守る会すみれ会 | 出   |

◎会長 ○副会長

備考：傍聴者（3名）

2025年度第3回町田市子ども・子育て会議 担当課出席者

| 氏 名   | 所 属                     |
|-------|-------------------------|
| 鈴木 亘  | 子ども生活部部長                |
| 香月 勇人 | 子ども生活部子ども総務課長           |
| 島崎 翔  | 子ども生活部児童青少年課長           |
| 三浦 啓史 | 子ども生活部保育・幼稚園課長          |
| 田中 茂明 | 子ども生活部子育て推進課長           |
| 堀 秀彰  | 子ども生活部子ども家庭支援課長         |
| 江成 裕司 | 子ども生活部子ども発達支援課長         |
| 遠藤 聡人 | 子ども生活部子ども発達支援課相談・療育担当課長 |
| 山形 悠介 | 保健所保健予防課母子保健担当課長        |
| 大山 聡  | 学校教育部指導室長               |

事務局：奥 雅文、深井 健央、福永 まりえ

## 【議事内容】

### 1 開会

子ども総務課企画総務係長：ただいまから、2025年度 第3回 町田市子ども・子育て会議を開会いたします。私は、子ども総務課企画総務係長の奥と申します。議題に入る前まで、司会進行を務めさせていただきます。

議事に入る前に、会議の欠席、遅刻のご連絡をお伝えいたします。本日は松井委員から欠席との連絡をいただいております（井上委員欠席）。また、駒津委員及び下尾委員から遅れる旨の連絡をいただいております。本日は半数以上の委員の出席をいただいておりますので、会議は有効に成立しております。

本日の会議の進行ですが、1時間程度を目安に進行していきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。また、議事要旨作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、あらかじめご了承ください。

### 2 事務連絡

子ども総務課企画総務係長：会議の公開について、本日は3名の方が傍聴を希望されています。特にご意見がなければ、公開するというところでよろしいでしょうか。

一同：（異議なし）

子ども総務課企画総務係長：それでは傍聴人の方の入室をお願いいたします。傍聴の方が入室されましたので、会議を進めさせていただきます。

議題に入る前に、事務局から会議の運営についてお伝えいたします。発言する際には、まず挙手をしていただき、会長に指名をされてから発言をお願いいたします。議事要旨作成のため、ご自身のお名前を述べていただいてから発言をお願いいたします。なお、子ども・子育て会議は、子ども・子育て支援に関する事項についてご審議いただく場となります。皆様から建設的なご意見をいただくことで有意義な議論ができるよう、ご協力をお願いいたします。

続きまして、本日配付している資料の確認をいたします。お手元の資料をご覧ください。

## ■資料の確認

[資料1～6の確認]

子ども総務課企画総務係長：ここからの進行につきましては、鈴木会長にお願いした

と思います。よろしくお願いいたします。

### 3 議題

#### (1)「町田市子どもマスタープラン25-34」の2025年度上半期の進捗について

鈴木会長：最近、インフルエンザ等が流行っており、本学でも欠席する学生が増えている状況ですが、そのような中お集まりいただきましてありがとうございます。よろしくお願いいたします。

それでは早速議題に入ってまいりたいと思います。まずは議題1の「町田市子どもマスタープラン25-34」の2025年度上半期の進捗について、担当課から説明をお願いいたします。

[資料1の説明]

関野委員：3ページの取組番号2「教育支援センター」について、設置している教育センターの立地が町田市の中心あたりですが、市内における不登校児童生徒の居場所として、教育センターだけでカバーできるのか疑問に感じました。広い地域で対応していただきたいと思いますが、今後、南や北の地区等への展開について、展望はありますか。

指導室長：現在、教育支援センター分室「やどかり教室」は小山に設置していますが、他の地区にも設置を望む声はいただいています。今後、教育支援センターの分室を各地区に設置できるよう検討しているところです。

関野委員：ありがとうございます。もう一点、12ページの取組番号48「延長保育」について、実績が総数になっているため、延長時間別でどのくらいのニーズがあったかを示していただけると、施設側としても、今後のニーズ量に応じた事業展開や、より適切な対応ができると思います。

保育・幼稚園課長：いただいたご意見を踏まえ、次回以降、もう少し細かい内容を記載できるように検討していきます。

旭岡委員：8ページの取組番号28「子育て支援ネットワーク連絡会」について、町田の丘学園も出席させていただいていますが、身体的虐待とネグレクトの案件がほとんどを占めており、性的虐待はほとんど挙がっていません。町田市での案件が少ないのか、もしくは見逃されているのか、正しく把握できているかどうか

かもチェックしつつ進めていただきたいと思います。

子ども家庭支援課長：性的虐待は、明かしくい内容がかなり多くあり、子育て支援ネットワーク連絡会の中では取り上げておらず、基本的には児童相談所で対応しています。この対応にあたっては、状況に応じて子ども家庭支援課も連携しています。

旭岡委員：性的虐待は、身体的虐待やネグレクトと比べて明らかにしづらいところですが、かなり根が深く、町田の丘学園でもそういった虐待の対応をした事例が何件もあります。表に出づらく見逃してしまうことが一番怖いので、ぜひ連携しながらご対応いただきたいと思います。

## (2)「町田市子ども発達支援計画行動計画2024～2026」の2025年度上半期の進捗について

鈴木会長：続いて、議題2「町田市子ども発達支援計画行動計画2024～2026」の2025年度上半期の進捗について、担当課から説明をお願いします。

[資料2の説明]

村野委員：4ページのNo6「子ども発達センターの児童発達支援週5日通園」について、先ほどの説明では、医療的ケア児が新たに一人入園し、看護師を追加配置したとのことですが、看護師は専属で一人なのか、それとも何人か交代で勤務されているのでしょうか。

子ども発達支援課相談・療育担当課長：看護師については、従来、会計年度任用職員の4人の看護師が交代勤務していましたが、新たに正規職員の看護師を一人追加し、現在5人体制となっています。今回入園した子ども以外にも医療的ケア児がおり、他にもてんかん等色々な状態の子どもがいるため、全体の健康を守るという形で、看護師を複数配置して対応しています。また、送迎時も同じ看護師が同乗しています。

鈴木会長：今後、医療的ケアを必要とする子どもが増える可能性もあると思いますので、このような形で手厚く支援いただけるとありがたく思います。

矢口委員：同じくNo6の取組や、No7「子ども発達センターの児童発達支援週1日通園（併行通園）」は、上半期の時点で既に目標値に達していますが、現在、利用を待機している方はどのくらいいるのでしょうか。また、この数値を踏ま

え、今後増やしていく予定はあるのでしょうか。

子ども発達支援課相談・療育担当課長：N o 6 の週 5 日通園は 2 人、N o 7 の週 1 日通園は 1 7 人の方にお待ちいただいております。保育園や幼稚園に通いながら併行通園したいというニーズが多い状況です。新たに設置予定の（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設が完成した暁には、人数を増やして受入れができると考えていますが、その間は、現在の施設で何ができるかを考えながら工夫していきたいと思っております。

矢口委員：1 7 人が待っているという状況は、決して少ない数ではありません。現状は施設面積の問題もありますが、今後の計画等の見直し時において検討材料にさせていただけると良いと思っております。

旭岡委員：4 ページの N o 6 ～ 8、子ども発達センターに関する取組について、町田の丘学園もセンター的機能として保育園、幼稚園の巡回をさせていただいておりますが、障がいが比較的軽いお子さんでも特性がかなり強い方も見受けられます。最近では小学校のサポートルームも巡回し、1 0 人に 1 人か 2 人は相談をした方が良さそうなケースが見受けられますが、子ども発達センターに相談に来られる方、または単発の相談で終了する方はどの程度いるのでしょうか。

子ども発達支援課相談・療育担当課長：新規相談は年に 5 0 0 件程あります。細かな統計は出していませんが、全ての方が療育につながるわけではなく、1 0 0 件程度は単発の相談で終了しており、その他、電話だけの相談で終わる方もいます。

旭岡委員：保育士の方がやっとの思いで説得し、相談につながるケースも多いため、是非今後もご対応をお願いいたします。また、特性のある方は「こういうふうな支援をすると良い」といったことをお伝えいただくと、今後にもつながっていくと思っております。

蓮池委員：1 2 ページの N o 4 1 「重症心身障がい児（者）等在宅レスパイト」について、8 社契約のうち 3 社利用実績があったとのことですが、近年、医療的ケア児の介護が大変で悲しい事件も起きている中で、町田市として、在宅レスパイトも含めて医療的ケア児の家庭の負担軽減についてどのように取り組まれているのでしょうか。また、在宅レスパイトについては現在の供給で十分なのか、あるいはまだ足りておらず今後増やしていく予定なのか等、今後の見込みを伺いたいです。

子ども発達支援課長：重症心身障がい児（者）等在宅レスパイトの担当課である障がい福祉課に確認し、後日回答させていただきます。

【後日回答】医療的ケア児の家庭の負担軽減については、子ども発達センターに配置した医療的ケア児コーディネーターを中心に、医療的ケア児とその家族からの相談に対応し、医療的ケア児が必要とする保健、医療、福祉、保育、教育等の多分野にまたがる支援の利用を調整すること等を通じて、家庭の負担軽減にも努めています。

重症心身障がい児（者）等在宅レスパイト事業については、看護師が自宅に訪問する事業上の特性があることから、利用される家族と訪問看護ステーションとの関係性（信頼関係）が重要です。そのため、利用者が現に利用している訪問看護ステーションを当事業でも利用できることが、利用者及びその家族の安心につながるものと考えています。また、利用できる訪問看護ステーションの選択肢を広げ、当事業を利用しやすい制度にしていくことも重要です。以上のことから、今後の見込みについては、さらに安心して利用しやすい事業にしていくために、計画上の目標値にかかわらず、事業を実施する訪問看護ステーション数を増やしていけるように取り組んでいきたいと考えています。

酒井委員：15ページのNo51「個別避難計画の作成」について、モデル地区とありますが、どの地域でこういった方を対象に作られているか教えていただきたいです。

子ども発達支援課長：障がいのあるお子さんの個別避難計画は保護者の方が作成されている場合が多く、現在は1件の作成依頼があります。障がいの内容はここでの説明は控えさせていただきますが、該当される方が何人かいらっしゃいます。福祉総務課にて連絡を取りながら対応・案内をしています。現時点では他の方からの作成依頼はいただけていません。

杉浦委員：6ページのNo18「就学・進学相談」に関して、学校の現状をお伝えします。中学校の進学相談で、知的固定学級「適」の判定が出ていても、通常の学級での進学を希望される保護者の方が一定数います。その場合、特に中学校の段階になると学力差は著しく離れてしまい、通常の授業にはついていけず、ほぼ高確率で別室対応になったり不登校になってしまったりする現状があります。中には小学校で知的固定学級に通っていても、中学校に上がる際、進学に不利になるという理由で通常の学級をあえて選択するケースもあります。この状況

を保護者の方にご理解いただくのは非常に難しく、インクルーシブ教育という理想はもちろんありつつも、現実には厳しい状況となっています。

蓮池委員：保育園の先生方への支援や相談の機会が多くあるということは、保護者としてもとてもありがたく思っています。議題1の「町田市子どもマスタープラン25-34」の中間報告も含め、保育園の先生向けの支援の取組がいくつかあると思いますが、それぞれどのような専門職の方が、こういった観点でアドバイス等をされているのかをもう少し詳しく教えてください。

子ども発達支援課相談・療育担当課長：子ども発達センターには、心理発達相談員、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士の職員がおり、必要とする支援や相談の内容によって、指導・助言やサポートを行っています。ただし、専門職の人数は多くないため、相談の経験のある保育士が、必要に応じて専門職のサポートをする場合もあります。

子ども発達支援課長：7ページのNo.21「療育セミナー」では、学識経験者の方に講義をしていただいています。今年度は、町田市子ども・子育て会議委員の下尾先生にお願いし、保育園・幼稚園等、学童保育クラブなどの職員に対して、グレーゾーンの子どもの対応の仕方、保護者への対応の仕方についてご講義をいただいております。色々な面からサポートができればと考えています。

保育・幼稚園課長：保育・幼稚園課における保育士のサポートは、市の公立保育園の園長経験のある保育士が保育コンシェルジュとして日ごろの保育の困りごとなどの相談を受け、助言をさせていただくことが中心となっています。法的な観点からサポートが必要な内容については、保育士サポートロイヤーとして弁護士におつなぎするほか、最近増加傾向にある労使関係の内容については、今年度から社会保険労務士によるサポートを新たに開始しています。このように様々な点から助言等させていただいています。

#### 4 報告

鈴木会長：続きまして、報告に移ります。今回は2件の報告がありますので、担当課から説明をお願いいたします。

[報告事項(1)(2)の説明]

菅野副会長：資料3について、3ページにある「町田市版CFCIチェックリスト2024年度版（一部抜粋）」を見ると、何が問われていて、具体的に何をどう評価したかが分かります。しかし、全体の評価が記載されている資料4ではかなり簡略化され、問われている内容が記載されていないため、評価の妥当性が判断できないと思いました。

児童青少年課長：チェックリストの原文は長い文章もあるため、資料4では、簡略化して記載しています。評価は、チェックリストの原文に沿って行ったものとなっています。

菅野副会長：子ども・子育て会議として報告いただくには、評価の妥当性が分かる方がより意味があると思いますので、今後ご検討いただければと思います。

矢口委員：資料6について、未就園児預かり推進事業は来年4月から本格実施となります。国の分科会によると、12月から利用者の給付システムや総合管理システムなどの受付が始まるとされていますが、町田市の状況はいかがでしょうか。

保育・幼稚園課長：国の制度と東京都の制度を整理した上で、2026年3月あたりには総合管理システムが使用できるよう、準備を進めていきたいと考えています。

矢口委員：利用する保護者の方に対して、給付のシステムや利用の登録の仕方など、分かる範囲で早めに発信していただけると良いと思います。

蓮池委員：同じく未就園児預かり推進事業について、利用者から見ると、こども誰でも通園制度と既存の一時保育の差が分かりづらく、利用料の有無や使える時間にも差があり、混乱してしまうように思います。その辺りの案内や、メリット・デメリットのような情報があれば、周知の際に考慮いただけるとありがたいです。

保育・幼稚園課長：町田市におきましては、この事業を利用することで子どもがどう成長していくのか、という結果も含め、一時保育との違いやメリットも明確にしながらポスター掲示やパンフレット等で周知させていただいています。いただいたご意見を踏まえ、今後も検討を進めていきたいと考えています。

## 5 その他

鈴木会長：他に何かございますか。よろしければ、議事は以上となりますので、進行を

事務局にお返しいたします。

## 6 閉会

子ども総務課企画総務係長：委員の皆様、ありがとうございました。以上で本日の会議は終了となります。次回の会議は2026年2月5日（木）となります。

以上をもちまして、2025年度 第3回 町田市子ども・子育て会議を閉会いたします。ありがとうございました。